アメリカや韓国や中国の子どもたちと。いつか遊んでみたいな。

―西里小学校訪問―

知事一行は二十七日、小国町の西里小学校（大久保政夫校長）を訪問。授業を参観した後、ホールで児童全員と交流会を開き、楽しいひとときを過ごしました。

西里小学校は、全児童二十六名の小さな学校です。そこへ、福島知事を始め、三カ国から地域の首長が訪れるとあって、子どもたちも興奮気味。歌の練習をしたり大掃除をしたり、学校をあげて歓迎の準備を進めてきました。

知事一行はまず、小国名産の杉を使ったユニークな校舎に関心を持った様子。中に入ると、五・六年生の算数の教室へ向かいました。知事たちは通訳の説明を受けながら、熱心に聞き入っています。中でも中国の雷副主席は、教科書を覗いて児童に質問したり…。

授業参観の後は、ホールに全児童が集まって交流会が開かれました。挨拶の後はフリートーキング。

皮切りは雷副主席です。「お家で両親の手伝いをしていますか?」「宿題は大変ですか? 先生のことが好きですか?」などの質問に、子どもたちも先生たちもドッキリ。

「大人になっても、小国町にずっと住みたいと思う人は?」。韓国の朴知事の質問に、ほとんどの子どもたちが、勢いよく手を上げました。参加者からも思わず拍手が起こりました。

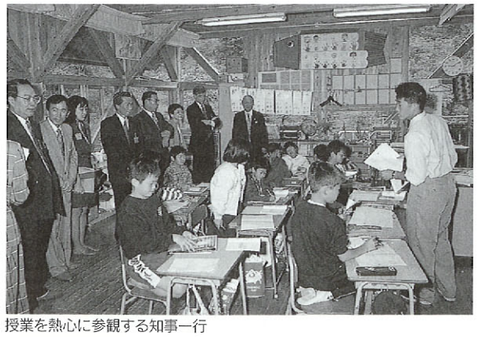
知事たちと子どもたちの和やかな交流会

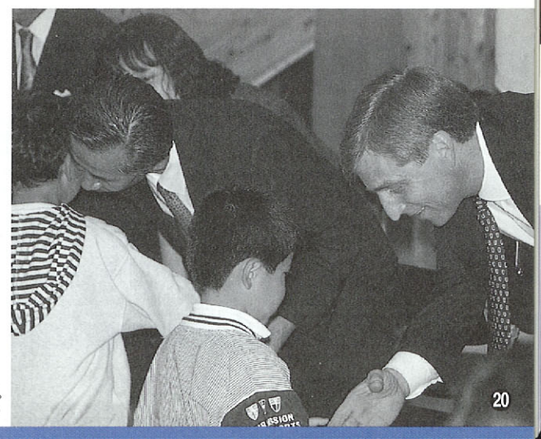
アメリカのラスコー知事とは、ペット当てクイズをしたり。バッファローのバッジをプレゼントされる頃には、子どもたちもすっかり打ち解け、知事たちも楽しんでいる様子です。

最後に児童全員で「あの青い空のように」を合唱し、手作りの絵入りカードを知事たちにプレゼントしました。

「(知事たちは)やさしそうだった」と工藤たかよさん(二年生)。「外国の子どもたちも、(僕たちと)同じ遊びをしてるって聞いて不思議だった」と長谷潤君(三年生)。子どもたちにとってアメリカや中国や韓国が、ぐっと身近な国になったようです。

二時間後、知事一行のバスは、次のサミット会場へと、西里小学校を後にしました。近所の父兄と一緒になって、いつまでも手を振る子どもたち。バスから身を乗り出して応える知事一行。忙しい日程のひとこま。知事たちにとってもあたたかい思い出となりました。


授業を熱心に参観する知事一行


「また、会いましょうね」。
朴知事(左)とラスコー知事(右)

教育ワークショップ

記念ワークショップ

●問題解決にパートナーシップを生かそう!

行政、教育、経済、環境、観光の各分野で、各地域の代表者と県内関係者がそれぞれに抱える課題について自由討論を行いました。

■行政ワークショップ

「これからの地域行政」をテーマに、行政の効率化による住民サービスの向上について話し合われました。開発と自然保護の問題なども話題に上りました。

■教育ワークショップ

テーマは「学校教育と主体性」。"主体性のある子ども"を育てるための試みについて、多数参加の教育者からも意見が活発に出されました。

■経済ワークショップ

テーマは「スモールビジネスと国際戦略」。中小企業の海外進出に伴う海外市場の情報収集・提供の方法についても具体的な提案が出されました。

■環境ワークショップ

テーマは「環境保護に対する地方政府の役割」。環境教育を中心に、各国の具体的なプログラムも披露されるなど、活発な意見交換が行われました。

■観光ワークショップ

テーマは「観光交流の現状と課題」。これからの観光のあるべき姿や姉妹地域間のパートナーシップを生かした観光交流の可能性について討議されました。

協賛イベント

●一人ひとりの顔が見える国際交流を!

国際協力や国際交流など、県内では民間レベルの地道な活動が数多く行われてきました。今回は県内の三十の団体が参加。各会場で草の根の国際交流が展開されました。

ひろげよう・国際交流の輪を

奉仕活動、文化交流を進めている二十一の団体が参加。民族音楽の演奏や民族料理の試食、パネル展示、ビデオ上映など、和やかな交流が繰り広げられました。

シンポジウム・日本語で国際交流

シンポジウムと、国立国語研究所日本語教育センターの西原鈴子氏の講演。日本語を教えるボランティアグループが参加。外国人への支援策について討議されました。

外国人関連セミナー

行政書士や弁護士、司法書士など六団体が参加。外国人の住みやすい環境づくりのために各団体が抱える課題について意見交換がなされました。

国際家族年ホームスティプログラム

熊本在住の留学生や研修生など四十一人が、県内の家庭に一泊二日のホームスティをしました。

笑顔!やさしさ―集まれ地球人

―ようこそ不思議の国へ―

「やさしさ」をテーマに障害福祉について、フリートーキングが行われました。

長野良市写真展「同時代のシーン」

―中国、韓国、アメリカ、日本―

阿蘇郡長陽村在住のカメラマン、長野良市氏の写真展。県と姉妹(友好)提携関係にある各地域の自然や風物を撮った約四十点が展示されました。

国際家族年記念・熊日海外こどもの絵作品展

―わたしの大好きなお母さん―

各国の幼児や児童が描いた「お母さん」の絵三百点が展示されました。

外国人に対する法律相談

昨年九月より、外国人対象の無料相談を行っている県弁護士会の主催。この日も、熊本に住む外国人の方々から相談が持ち込まれていました。

モンタナ州ラスコー知事来熊記念アメリカンフェア

アメリカンビーフやサーモン、乳製品などの農産物や工芸品など、モンタナ州の物産展が開かれました。パッチワークの実演やカントリーミュージックの生演奏など、会場はアメリカンムードに満ちていました。